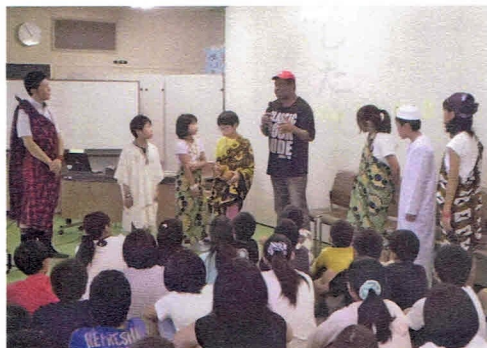


国際協力——私たちにできること

「国際協力」というと、みなさんは難しいことのように思うかもしれませんが、愛知県大府市の共長小学校の六年生は、自分たちにできる「国際協力」は何かを考え、アフリカ東部にある、タンザニアの図書館にお金を寄付することにしました。その取り組みについて、くわしく見ていきましよう。

【きっかけ】

五年生のときの総合的な学習の時間に、タンザニアのウスワ村出身のテリーさんから話を聞きました。そのとき、「勉強をしたい子どもたちのために、教会に図書館を設置したのだけれど、本が集まらない」という、ウスワ村の図書館がかかえる問題について知りました。



テリーさんの話を聞いている児童たち

【作戦会議】

「私たちにできることはないだろうか。」
本を送るといふ意見も出ましたが、送料が高くなること
が分かりました。そこで、自分たちで古本を集めて売り、
そのお金をウスワ村に送って、本を買ってもらおうと
いうことになりました。こ
うして、「共長★タンザニ
ア図書館プロジェクト」が
立ち上がりました。



プロジェクトを広く知ってもらうための目印として児童がデザインしたもの

【行動】

全校児童や保護者に呼びかけ、千二百五十冊さつの古本が集まりました。

集まった本を、地域の祭りなどで売ると、たくさんの方が買ってくれました。



【成果】

本を売って得たお金を寄付しました。このお金で、ウスワ村の図書館では、百七十五冊さつの本を買うことができました。

ウスワ村の小学生からは、お礼の手紙とプレスレットが届きました。



寄付したお金で本がそろえられた図書館

手紙とプレスレットを手にするウスワ村の小学生



冬休みに調べてみよう

共長小学校の六年生のように、他国の人のために自分たちでできることはないだろうか。「国際協力」として行われている活動を、本やインターネットなどで調べてみよう。



ウェブサイト
「国際協力機構 ぼくら地球調査隊」

